

☆下越地区大会の結果

○陸上競技部 (8位入賞) **祝** 県大会出場 ※円盤投げ・低学年リレーは、県大会は無し

＜男子＞					＜男子＞				
種目名	順位	氏名	年	記録	種目名	順位	氏名	年	記録
走幅跳	3位	松本 蓮	2	5m76	400m	5位	渡邊 琉汰	2	57.32
棒高跳	1位	渡邊 琉汰	2	3m30	低400mR	5位	天木・渡邊・遠藤・渡辺	1・2	50.58
	3位	山崎 翔太	2	2m40	＜女子＞				
	5位	長野 十磨	2	2m20					
1500m	4位	内山 暖和	3	4:27.36	走高跳	1位	松田 彩秀	3	1m53
3000m	5位	内山 暖和	3	10:02.31		2位	近 美結菜	2	1m47
砲丸投	1位	坂上健太郎	3	11m46	四種競技	1位	松田 彩秀	3	2520点
	5位	渡辺 豹牙	2	10m07		＜大会新記録＞			
円盤投	1位	坂上健太郎	3	36m72		2位	近 美結菜	2	2107点
	3位	渡辺 豹牙	2	33m27	共通400mR	4位	須貝・光林・近・松田	1,2,3	53.19

○各種大会

部名	対戦結果・順位 等	部名	対戦結果・順位 等
男子卓球 〈団体〉	県大会出場ならず 予選リーグ3位 1勝2敗 荒川0-3新発田東 荒川3-1阿賀津川 荒川2-3黒川	女子卓球 〈団体〉	県大会出場ならず 予選リーグ2位 2勝1敗 荒川1-3黒川 荒川3-2阿賀津川 荒川3-0七葉
〈個人〉	6名出場 5名1回戦 惜敗 1名2回戦 惜敗	〈個人〉	代表決定戦 荒川0-3五泉 4名出場 2名1回戦 惜敗 2名2回戦 惜敗
男子ソフトテニス 〈団体〉	県大会出場ならず 予選リーグ 惜敗 荒川 2-1 水原 荒川 0-3 村松桜 荒川 0-3 豊浦	男子バスケットボール	県大会出場ならず 1回戦 荒川30-80聖籠
女子ソフトテニス 〈団体〉	祝 3位 県大会出場 予選リーグ1位 荒川 3-0 猿橋 荒川 2-1 安田 決勝トーナメント 荒川 2-1 聖籠 荒川 0-2 五泉	バレーボール	県大会出場ならず 初戦惜敗 荒川 0-2 安田
〈個人〉	5位 県大会出場 祝 遠藤瑞穂・真保明音 ^ア 本間彩・佐久間穂香 ^ア	バドミントン 〈団体〉	県大会出場ならず 初戦惜敗 荒川 1-2 乙
軟式野球	県大会出場ならず 1回戦 荒川 5-2 乙 2回戦 荒川 0-6 聖籠	〈個人〉	祝 ベスト8 県大会出場 大嶋夕稀・斎藤愛奈 ^ア
		男子剣道 〈団体〉	県大会出場ならず 予選リーグ2位 2勝1敗 荒川 5-0 中条 荒川 2-3 佐々木 決勝トーナメント準々決勝 荒川 1-4 本丸
		〈個人〉	惜敗
		女子剣道 〈個人〉	県大会出場ならず 惜敗

祝 陸上競技部3年生 松田彩秀さんが走高跳で全国中学校大会に出場決定!

7月13日(金)、デンカビッグスワンスタジアムにおいて通信陸上競技大会が行われ、当校の松田彩秀さんが走高跳で全国中学校陸上競技大会参加標準記録の1m60cmを1回目でクリア、全国大会出場の切符を獲得しました。順位もここで1位決定。次は記録への挑戦。自己タイ記録の1m62cmに挑戦。1回目の跳躍。いつも通りの助走から踏み切り、身体はバーの中心を飛び越えた。「跳んだ」と思いましたがバーが揺れています。誰もが息をのむ中、バーは落下せずクリア!会場から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。本人もマットの上でガッツポーズ。次は自己新記録の1m64cm。これを跳べば、秋のジュニアオリンピック出場の出場資格を獲得。残念ながらクリアできずに終了。

8月8日(水)石川県西部緑地公園陸上競技場(金沢市)で行われる北信越大会にも出場できます。全中陸上競技大会は、8月20日(月)~21日(火)岡山県総合グラウンド陸上競技場(岡山市)で行われます。皆さんで応援しましょう!



〈通信陸上大会入賞者〉

- 松田 彩秀 (3年) 走高跳 1位 1m62
- 坂上健太郎 (3年) 砲丸投 5位 11m26
- 近 美結菜 (2年) 走高跳 7位 1m45

県中学校総合体育大会・下越吹奏楽コンクールの結果 〈7/21(土)・22(日)〉

【陸上競技】 柏崎陸上競技場

- 棒高跳 渡邊 琉汰 8位(3m40)
- 山崎 翔太 棄権
- 長野 十磨 入賞ならず
- 砲丸投 坂上健太郎 4位(11m47)
- 渡辺 豹牙 7位(11m14)
- 走幅跳 松本 蓮 入賞ならず
- 400m 渡邊 琉汰 入賞ならず
- 1500m 内山 暖和 入賞ならず
- 3000m 内山 暖和 入賞ならず
- 走高跳 松田 彩秀 1位(1m55)
- 近 美結菜 入賞ならず
- 四種競技 松田 彩秀 2位(2524点)
- 近 美結菜 棄権

○好種400mR (須貝・光林・近・松田) 入賞ならず

【バドミントン】 小千谷市総合体育館

- ダブルス 大嶋夕稀・斎藤愛奈^ア 1回戦惜敗
- 1回戦 荒川中 0-2 山古志中

【女子ソフトテニス】 長岡市営希望ヶ丘庭球場

- 団体戦 1回戦 荒川中 0-3 巻西中 初戦惜敗
- 個人戦
- ◇遠藤瑞穂・真保明音^ア 2回戦惜敗
- 1回戦 荒川中 4-1 瑞穂中
- 2回戦 荒川中 0-4 巻東中
- ◇本間彩・佐久間穂香^ア 1回戦惜敗
- 1回戦 荒川中 3-4 柏崎一中

【吹奏楽】 新潟テルサ

- 下越吹奏楽コンクール 金賞
- (残念ながら県コンクールには出場できず)

曲名:「斐伊川に流るるクシナダ姫の涙」

古事記に記載されているヤマタノオロチ伝説の物語を表しています。クシナダの心情を表すようなゆったりとした美しい旋律や、スサノオとヤマタノオロチの戦いの情景が思い浮かぶようなアップテンポの場面など、様々な要素が詰まった曲になっています。

英語検定合格者

3級	山田 莉久(3-3)	坂上 奈央(3-2)	長嶋心優人(3-2)	本間 彩(3-3)
	山田菜々子(3-3)	渡邊 陸斗(3-3)	渡邊 美吹(3-2)	
4級	井上 優汰(1-1)	山崎 翔太(2-1)	会田 弥瑚(2-2)	高橋 真咲(3-2)
	岩瀬 陽生(2-2)			
5級	小川 来惟(1-1)			

☆ 1学期の様子



○入学式〈4月9日（月）午後〉



○さくらつみウォーク〈4月15日（日）〉



○あらかわクリーン作戦〈4月28日（土）〉



○避難訓練〈6月15日（金）〉



○郡市大会報告会・表彰式〈6月18日（月）〉



○キャリア・スタート・ウィーク出発式〈7月9日（月）〉



○体育祭3軍団結団式〈7月18日（水）〉



左：赤軍 中央：緑軍



右：青軍



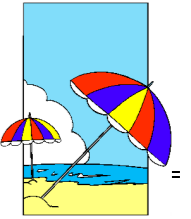
○県大会・下越吹奏楽コンクール激励会〈7月19日（木）〉 吹奏楽部の演奏披露



荒川中
だより

青い雲

村上市立荒川中学校
平成30年度 第4号
平成30年7月24日発行
Tel 0254-62-3251



教育目標：「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「笑顔とハートのある学校」（ハート＝熱いハート、温かいハート、柔らかいハート）

災害列島 日本

校長 長谷川 春義

新聞を見ると、西日本豪雨の被害状況が連日報道されています。被災された方へ心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。200人を超える多くの犠牲者を出し、まだ安否不明者も10数名いる状況でとても悲しい思いです。

日本は、「災害列島」と言われるほど自然災害が多く、地震、台風、洪水などで多くの方が苦しめられてきました。毎年、このような自然災害で多くの犠牲者を出しています。何と言っても平成23年3月11日に発生した東日本大震災、地震による津波の被害、この記憶は、今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。

昭和42年8月28日の羽越水害では、当荒川河川近辺の地域も多く被害と犠牲者が出ました。私が勤務していた前任校の阿賀町の三川地区でも、翌日の29日未明に洪水が発生し、中学2年生女子の尊い命が奪われました。その水害から25年後、犠牲者を偲ぶ鎮魂歌、合唱組曲「阿賀野川」が創られ、今も歌い継がれています。

阿賀町では、平成23年7月にも「福島新潟豪雨」で被害を受けましたが羽越水害の苦い経験を活かし、様々な防災の取組がなされ、被害は少なく済みました。

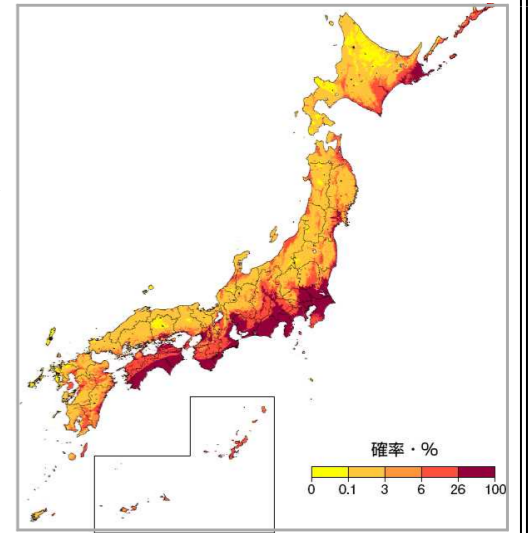
台風や地震などの自然災害を止めることは私たちにはできませんが、被害を最小限にする工夫は可能です。阿賀町では、阿賀野川や新谷川等に高い堤防を設置したり、高い橋に架け替えるなど、最近、計画に基づいた設置がようやく完成したようです。でも、大量の雨が降り、川が増水すると、通行止めになる箇所もまだあるようです。

犠牲者が減ってきたのは、このようなハード面の取組もありますが、苦い経験をもとに様々な工夫がされるようになったからです。地震発生による火災から、自動的に止まるガス装置の開発、家具の下敷きで犠牲になる人が多くいることから家具を固定する器具。携帯電話に緊急地震速報が流れるようになったり、重大な災害が予想される時に、気象庁から特別警報を出して避難を促すようになったり、ソフト・ハード面、共に防災の仕組みは進んでいます。

「自分の生命は自分で守る」という防災教育が教育現場でも位置付けられたり、地域住民での防災訓練が実施されたり、私たちの防災意識も高まっています。

今回の水害で被害の大きかった岡山県（全中陸上大会開催地）は、もともと他府県より自然災害が少ない場所だと言われてきましたが、そのような場所でさえ、このような災害に遭うこともあるのです。想定外はあるかもしれないと考えて、いざという時にどう行動するかを決めておくことは、とても大切です。当地区で発生するかもしれない災害を想定して避難するための安全な場所、避難時に必要な用具の準備など、家族でよく話し合っておきましょう。

いよいよ33日間の夏休みが始まります。海水浴やキャンプ、旅行など楽しいことがたくさん待っていますが、一方で自然災害への心構えも忘れないでください。8月27日（月）の2学期始業式には、全校生徒が全員揃ってスタートできることを願っています。終業式で話した、好奇心を持って、新しい発見や感動、新しい興味が生まれるよう、有意義な夏休みにしてください。



〈今後30年以内に震度6弱の地震が来る確率〉

確率・%